

＜基本情報①(自治体情報)＞

都道府県市名 政令都市・中核都市名	名古屋市		
高校入試 担当部署名	教育委員会事務局 教育支援部 高等学校教育課		
TEL	052-972-3234	FAX	052-972-4177
URL	https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-4-0-0-0-0-0-0-0.html		

＜基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)＞

調査担当者名	上村 桂恵子	(所属: 愛知夜間中学を語る会)
--------	--------	-------------------

＜全国一覧掲載情報＞

	Ⅰ 全日制高校について						Ⅱ 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)						なし	なし		なし			
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)						①定員内						

I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2024年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	有
2-1.2025年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の 場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導 が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とし た特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の 場合は「3-1の備考」に明記	×	×	○
3-1の名称			海外帰国生徒にかかる入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			・原則として継続して2年以上海外に保護 者とともに在住していた者 ・令和5年3月1日以後に海外から帰国し た者
3-3.入学枠のある学校数／全学校数			1校/13校
3-4.学校名			名古屋市立名東
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		国際英語科30%程度まで
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで 合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			国語、数学及び外国語(英語)
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が 必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項な どを記入			・志願者1名、合格者1名 ・3-6について、定員枠は明確に定めてい るが、不合格を出さない規定はない。

Ⅱ 定時制高校について			
	D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2024年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
2-1.2025年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	左記の「外国人等」の「等」に含む	×
2-1の名称	外国人生徒等にかかる受検上の配慮		
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	小学校第4学年以上の学年に編入学した者、若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者、又は入国後の在日期間が6年以内の者		
2-3.措置の内容	・基礎学力検査(国語・数学・英語の3科目)の問題の漢字にルビを振る。 ・面接は個人面接とする。		
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず		
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学校の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×		×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学校のある学校数／全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入	「外国人生徒等にかかる受検上の配慮」 申請 受検者31名、合格者28名		

Ⅲ 高校入学後の状況

1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択			
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	☐	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別的教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施	
	☒	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施	
	☐	C.母語(継承語)保持のための授業の実施	
	☐	D.担当教員の加配	
	☐	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用	
	☒	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用	
	☐	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用	
	☒	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)	
	その他の施策		
	上記に該当する実施校の校数等	定時制課程3校で実施。ただし、Fは1校。	
補足事項			
2-1.「1-2のA」において 特別的教育課程 での日本語授業を行っている？			
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名			
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか？ ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など		無	
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入			
4.2024年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入		把握せず	
5.2023年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入		無	

Ⅳ日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第1条に定められている学校ではないため。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学 者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付し ている場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したもの と同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別 入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格を もって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したも のと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の 卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めて いない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は △を記入し、備考に明記	×	学校教育法第1条に定められている学校ではないため。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学 者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付し ている場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したもの と同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別 入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格を もって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したも のと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、 日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在学期間を含むか否 か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めな い」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2024年度入試において受験(受 検)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」 を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること	子ども日本語教室によるネットワーク「こどものにほんご応援隊@名古屋」の声より ・名古屋市内では県立名古屋南高校と県立中川青和高校のみが外国人生徒等選抜入試の対象校であり選択肢が十分でない状況が続いています。外国ルーツの生徒も日本人生徒と同様に学力レベルは様々であり市立高校(全日制)においても外国人生徒等選抜入試の導入を望みます。 ・県立の定時制高校では「日本語」の教科認定など日本語学習支援の取り組みが進んでいます。市立定時制高校においても「日本語」の教科認定など、更なる支援の拡充を期待します。 ・昨年から始まったWEB出願は過年度生の受験を想定していない選抜マニュアルで、翻訳機能が一部分のみであるため特にダイレクト受検者には支援者がつきっきりでサポートしないと申請が困難です。 ・不登校や引きこもりの存在、また、中学校卒業資格がもたらえたとしても高校進学へ結びつかない「家族滞在」の在留資格を持つ若者の存在を支援者として危惧しています。
2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など	子ども日本語教室によるネットワーク「こどものにほんご応援隊@名古屋」の声より ・「原則として令和〇年3月に中学校を卒業予定の者」と募集要項に記載されるなど、過年度生の場合、学力的に十分であっても積極的に受け入れをしていない私立高校が多いようです。学力が認められた場合でも、面接、審議と時間をかけて段階を踏まなければ入学できないケースもありました。母国で優秀な成績を修めていた生徒の学びの間口を広げることを希望します。
3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください	名古屋国際センター「海外児童生徒教育相談」窓口 https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/servicecounter/education-consultation/
4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。	名古屋国際センターと名古屋市教育委員会の共催で「外国人の子どもと保護者のための進路ガイダンス」を名古屋国際センターにて開催(例年時期は7月下旬から8月上旬) HPにて日本語(るび付)、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語(タイ語を準備中)の配布資料がダウンロード可 https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/publication/schoolguidance/handout.html
5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。・・・などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。	2017年度から特別措置導入(「外国人生徒等受検配慮申請」により定時制の基礎学力検査(国・数・英)はルビ付き問題、面接は個人面接)
6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致します。	「外国につながる子どもたちの進路開拓・進路応援ガイドブック」(ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、日本語ルビ付き) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/shinro-guidebook2.html